

元気 再生 !
フルパワーあおもり

三 村 申 吾

<http://www.gogo-shingo.jp/>

決 意

自分には 8 年間の、険しく厳しい道のりを、ふるさと青森のためにとの熱き心で、その再生・新生に懸命に走り続けて来たという思いがあります。

その道のりの中で、県政史上初めてとなる通常の県債残高を減少局面に導き、実質的に財政の収支均衡（収入で支出を賄う）を達成することが出来ました。

また、攻めの農林水産業については、食産業の青森をめざし、国際戦略を描くという次のステージへと前進させ、また、東北新幹線全線開業のチャンスを最大限に活用し、青森ツーリズムも同様に世界を目指しています。さらに戦略的企業誘致により、企業誘致・増設数も 200 社を超えました。

県民の安全安心を持続的に守る「保健・医療・福祉包括ケアシステム」は、一人ひとりを医療と保健・福祉サービスを連動させて支える「地域連携パス」をこれに加えじわじわと充実しつつあります。課題であった医師確保は 40 名前後だった医学部進学者が 80 名前後と倍増し、併せて研修医もこれまで最大の 70 名にいたっています。愚直に走り続けて来た道を振り返る時、私は堅実な日々の努力の積み重ねの大切さを改めて思います。それを支えて下さったのは、県民の皆様の暖かい声援でした。

しかし、その私たちを、私たちの東北地方を、3 月 11 日未曾有の大震災が襲いました。その筆舌に尽くし難い惨状には、誰もが言葉を失いました。

青森県内でも八戸地域を中心に、生命や財産が失われ、日常生活や産業に甚大な被害が発生しました。

また大震災による間接的被害は、県内全域、いや日本全体に、生産や流通・交通、医療や福祉といった分野を問わず、この国のシステムのあらゆる方面にさらに拡大しつつあります。

まさに戦後最大の「国難」ともいうべき状況が、私たちの目前に立ち塞がっています。

その今だからこそ、

希望なくして、未来なし

私のなすべきは、何よりも県民の皆様の安全と安心を絶対に守り抜くという強い信念のもと改めてふるさと青森を再生し、この国を新生すべく希望の光を高らかに掲げること。希望の灯のもと県民の皆様とともに苦難を乗り越え、未来に向かって走り出すことであると確信します。

今回の大震災により県内全域が停電という厳しい状況の中で、県内全域から被災地に向けて、消防隊の方々が駆けつけて下さったり、各方面のご協力により、毛布や食料などの支援物資を迅速に届けることが出来ました。また地域住民の方々が力を合わせて炊き出しをしている姿には、青森の底力を見る思いでした。

互いが互いに支え合うという青森県民の素晴らしい絆、また、地道にこつこつと物事を成し遂げる正直で生真面目な県民性、あえてひとつの言葉にするならば「青森の正直」という県民のパワーを結集することで、青森の元気、日本の元気を取り戻して行けると私は考えます。

元気 再生！ フルパワーあおもり

県民の皆さん、青森の正直を胸に、青森の持てる底力、真の力を全力発揮して、ふるさとやこの国の元気な再生をめざし、ともに前進しようではありませんか。

三村申吾の姿勢

三村申吾は次の3つの姿勢を大切に皆様と歩みます

◇自立！

地方分権の本格化の兆しとともに人・物・情報が短時間に世界と繋がるグローバル化の時代が到来しました。自らの地域は自らが責任をもって創り上げる覚悟と同時に、グローバルな発想のもとで地域を元気にする取り組みが重要と考えます。シンク・グローバリー、アクト・ローカリー（Think Globally、Act Locally.「地球規模で考え、足元から行動しよう」）自主自立にして、世界の一翼たる青森県づくりに、県民の皆様とともに歩みます。

◇挑戦！

少子高齢化、グローバリズムの時代を迎え、青森の素晴らしい地域資源や価値、人財をさらに高度に活用・融合させる一歩先の取り組みが求められます。「創造からイノベーション（変革・革新）の時代へ」持続可能な活力あふれる青森の新しい地平線を目指す挑戦者の先頭に立ち、青森の未来と元気を切り拓きます。

◇協働！

青森力の源は「絆（きずな）」。大震災の場において支え合う県民の皆様のに、今あらためて、世代や地域・産業など様々な領域間で、絆という原点に立つ協働が求められていると考えます。協働を進めながら、お互いの存在と価値の大切さを認識し合い、連携し、支え合うことが真に強い青森力を創ると確信します。絆力にあふれる青森県をめざします。

県民の皆様への メッセージ

今回私は、青森の元気づくりに向けて推し進めていく政策・施策として、「教育、人づくり」「産業・仕事」「安全・安心、健やか」「行財政基盤安定」の4つの分野に体系化した「県民の皆様へのメッセージ」をお示しします。

さらに、今回の東日本大震災を受け、その復旧・復興に向け「震災復興・防災あおもり」を訴えたいと思います。

教育、人づくりあおもり

人財きらめくあおもり、未来輝くあおもり

★あおもりの未来をつくる人財育成に全力

本県独自の少人数学級を小学3年生までに拡大するとともに、青森を知る教育や、確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成に努めます。また学校・家庭・地域の連携強化による社会全体の教育力向上と、社会が求める人財育成を進めます。

★めざせ人づくり戦略の先進地、あおもり

これまでのあおもり立志挑戦塾での人財の元気化のみならず、「人づくりのメッカ青森県」の創出や高校生への次世代型キャリア教育の推進、小・中・高等学校を通じた系統的なキャリア教育の推進など、あおもりを牽引する人づくり戦略を展開します。

★農林水産業人財育成の推進

食産業は未来のチャンスに輝いています。営農集団を率いる新農業トップランナー育成とともに、新たに「浜の元気」をつくる人財の育成や大学間連携アグリビジネス起業家養成など、「青森の正直」と同時に食産業の現場の元気人財を育成します。

★創業・起業の人財、産業や観光の人財づくりの促進

インキュベーション（起業支援）やベンチャーに挑む人財育成とともに、ものづくり産業や観光人財の育成を促進することで、地場の経済の元気づくりを進めます。

★健康づくりとスポーツ振興

一人1スポーツに親しむ意識醸成と競技力向上を導く人財育成に努めます。将来の国体やスポーツ環境の充実のため、スケート場等老朽化した各種スポーツ振興基盤の整備検討調査を進めます。

★縄文（JOMON）の世界文化遺産指定に向け全力

平成27年の世界遺産指定をめざし、四道県や民間団体と連携し、JOMONの基層文化としての価値や、縄文ムーブメントをさらに発信します。世界自然遺産白神山地の豊富な自然と生態系の保全に努めます。

★女性パワフルあおもりをめざします

男女共同参画を促進するため市町村の基本計画策定を60%に向上させます。
男女が互いに支え合う家庭やワーク・ライフ・バランスを可能とする仕組みづくり、DV被害者の自立支援を行う民間シェルターの復活など、各分野での協働を進めます。

- 特色ある教育を守るための私学助成に努めます
- 芸術・文化人財きらめくあおもりづくりを進めます
- 進学力推進事業や医師を志す高校生のためのサポート事業を進めます
- 障害者の就職支援を進めます
- 県立学校の適切な改築や耐震対策など安全・安心で質の高い教育環境を整えます
- みんなで支える子どもの安全・安心づくりとスクールカウンセラーの配置により、教育相談制度の充実を進めます
- 生涯学習機会を一層充実し、サービス利用者の増を目指します

産業・仕事あおもり

産業・雇用の元気が、あおもりの元気

★食賛興業あおもりをめざします

食産業は生命産業そして未来産業。これまでの攻めの農林水産業の成果を活かし、食産業のあおもり、食の大県・あおもりの未来を拓き、地域の元気を発信するために、さらに攻めの姿勢を貫きます。

★食の海外戦略、輸出増大作戦

成長著しい東アジアをターゲットに、海外販売戦略を進めます。販路開拓、輸出体制や商品力の強化、ブランドづくりなどを柱に、攻めの農林水産業は世界へ雄飛。

★あおもりツーリズム、めざせ 400 戸・1 万人

これまでも、東北新幹線全線開業を目標に戦略的に展開してきた、あおもりのグリーン・ツーリズム。農家民宿、漁家民宿数を400戸に増やし、ゆっくりゆったり親しみ楽しむ新しい旅のスタイルを、青森から国内外に提唱し、農林漁家民宿宿泊者1万人を目指します。

★原点忘れず強化、攻めの農林水産業

攻めの農林水産業の基盤である「水・土・人」づくりをさらに強化し、出発点である地産・地消の協力店との連携を強化します。さらなる戦略的な新規販路開拓を進め、ネット販売を拡大することで、めざすぞ県外250億円！

★はやぶさ時代の産業・観光の元気創出に全力

交流人口の拡大であおもりを元気に。東北新幹線全線開業のチャンスを活かし、産業振興と国内外の誘客増に取り組みます。

「未来へのあおもり観光戦略」による観光力の強化と対アジアビジネスを総合的に支援します。まず、海外誘客の5万人復活を目指します。

★さらに頑張る、戦略的企業誘致

即効的な経済・雇用対策はやはり企業の誘致と増設。2期8年間で200社超の経験・実績を活かし、県一丸となってさらなる誘致・増設をめざします。

★地場産業・地場企業・商店に活力

細やかな金融対策や商店街地域連携、地域商人育成、新技術へのチャレンジを支援するとともに東北トップクラスで維持してきた公共投資予算枠を守ります。

本県の豊富な地域資源の高付加価値化を担う弘前地域研究所については、地域が求める産業支援機能の充実強化に取り組みます。

★創業・起業・ベンチャー元気のあおもり

これまで造成してきたトータル100億円のファンドを活かし、本県に存する素材・知財・技術・人財等を活用しての仕事づくり・産業おこしを進め、地域の活力を増大させます。

★環境・エネルギー産業で日本・世界に貢献するあおもり

食料・水資源、環境・エネルギーは今や世界の大きなテーマ。これらを有する青森の力が、産業・雇用のみならず国際貢献に活かされる時代が来しました。

環境エネルギー産業の人財育成とともに、県内企業の参入を支援し、就業人口を増大させます。EV・PHVの導入推進とその活用による仕事づくり、グリーン電力・エネルギーの移出販売倍増や利活用に努めます。

★日本一の青森りんごのさらなる発展

国内外への戦略的な売り込みに加え、青森りんご産業の維持発展を支える県独自のセーフティネットの構築に取り組みます。

★青森ほたて100億円産業復活

昨年夏の陸奥湾ほたてがい高水温被害は、漁業関係者はもちろん、関連する流通・加工業者の生活に大きな影響を与えています。

この危機を克服し、ほたて関連産業の復活をめざし、生産体制の早期回復と経営の複合化を全力で支援します。

○米・リンゴ・長芋・にんにく等こだわりの新品種戦略を推進します

○山・川・海をつなぐ水を守り、「環境公共」を推進します

○畜産あおもりの元気づくりと和牛オリンピックでめざせ上位！

○800キロの海岸線で、つくり育てる漁業の元気づくりを進めます

○攻めの木材加工やエコポイント戦略を推進します

○障害者雇用促進対策や働き盛りセーフティネットづくりを進めます

- 若年者の職場定着率を10パーセントアップ
- ユビキタス・クラウド戦略を推進します
- 幹線道路ネットワークづくりを促進します

安全・安心、健やかあおもり

安心して生きられる、真に豊かなふるさとあおもり

★保健・医療・福祉包括ケアシステム充実

一人ひとりの県民を、地域連携パスを含めた、保健・医療・福祉のネットワークで確実に守るという全国に先駆けた「包括ケアシステム」をさらに充実し、誰もが安んじて生きられる青森づくりを進めます。

★良医がどんどん育つあおもり

包括ケアシステムの要は医師確保と医療技術者の充実。

「良医を育むグランドデザイン」をさらに強力に進め、医師をめざすチャレンジャー支援と研修医のコンスタント 65名確保をめざします。

★健康寿命アップあおもり

「がん・生活習慣病対策課」を立ち上げ、がんの克服と生活習慣病の改善に向け全力。健診受診率をアップ、ぴんぴんころりの運動や食生活改善運動、減少傾向にある自殺の防止のための相談機能の強化等にもさらに全力にあたります。

★がんと闘うあおもり、がんに負けないあおもり

がん診療連携拠点病院である県立中央病院を中心に、質の高いがん医療の提供やきめ細かながん情報提供システム等を構築し、がんの克服のため県民と協働して取り組みます

★住民起点の救急医療対策の促進

住民が支える救急医療のあり方検討や、大きな課題の脳卒中の早期対応対策、毎日できる小児電話相談の確立をめざします。

県民の救命率向上のためドクターヘリの全県運航と、北東北連携等による複数機導入を視野に広域的活用をめざします。

★子どもすくすくバンザイ！！あおもり

子どもたちのすくすくすこやかあおもりをつくります。

子育てや見守りに種々事業を展開します。就学前児童の医療費支援、新しい父母を支えるパパ育ママ育応援、親子に優しい街づくりや、ひとり親家庭支援、発達障害者支援のパワーアップ、児童虐待防止対策の強化等、子どもの育みに全力です。また、新たに婚活事業も始め、結婚、出産、子育てを支援する気運を醸成します。

★事故・犯罪なくそう、安全・安心あおもり

「青森県犯罪のない安全・安心まちづくり推進計画」を強力に進め、犯罪認知件数をさらに減少させます。

各種交通安全対策を民間団体と協力し、死傷者7千名以下をめざします。

★めざせ「絆パワー」あおもり

命を大切に作る心を育む県民運動とともに、ほほえみを生み出す知識と技術を学んだ「ほほえみプロデューサー」3万人達成で、笑顔のあおもりづくりを進めます。

地域の支えあいや、地域のお祭り、伝統芸能の継承を応援します。

★新「もったいない・あおもり」県民運動

ごみゼロチャレンジで、排出量ひとり一日1kg以下を目指すとともにリサイクル率25%へ挑戦します。

各種地球温暖化防止策を展開するとともに、あおもり版エコポイント制度の創設を検討するなど、新たな低炭素型ライフスタイルへの転換を目指します。

★あおもり発！！エネルギー新世紀

地球のために低炭素社会づくりの最先進地域をめざします。

風力・太陽光・バイオマス・地熱・燃料電池の利活用・産業化の先進地をめざすとともに、スマートグリッド（分散型エネルギーシステム）の実証で、エネルギー新世紀を拓きます。

低炭素型モデルタウンで、低炭素型ライフスタイルの実現をめざし、先端技術の集積・移転により新しいビジネスチャンスをつくります。

★安全なくして原子力なし

県民の生命と財産を絶対に守り抜くという強い意志のもと、県独自の原子力安全性チェック検証システムを強化するとともに、情報公開・モニタリングを徹底します。

国及び事業者に対して、大震災による事故について、詳細な解析・評価、徹底的な原因究明を行い、その結果を反映させた原子力関連施設のさらなる安全対策等の確保・充実を強く求めます。

- 市町村と連携し、多重債務者対策を促進します
- 消費生活の安全・安心確保策を促進します
- セーフ・コミュニティに取り組む地域を応援します
- 河川・海岸・砂防等の防災対策を充実します
- ニホンザル・ツキノワグマ等の対策を進めます

行財政基盤安定あおもり

行財政基盤の安定なくして県政なし

★規律ある財政運営の下で元気な青森づくり

未来を担う子どもたちのために、今後とも行財政改革努力を継続する一方で、元気づくりや復興に全力投球します。

★6つの地域県民局で元気創造

今や地域の元気づくりは、県民局の活発な活動なくして語る事が出来ません。これまで以上に市町村や地域住民と協働すると共に、県民局同士の連携による新たな地域活性化にチャレンジします。

★県事業の選択と集中、効率的予算執行

行財政改革を念頭に、事業の適切な選択と集中に努め、予算の最も効率的効果的な執行に努めます。

- 市町村発・元気なあおもりづくり事業を継続します
- 市町村振興資金貸付等により、市町村の財政安定を積極的に支援します
- 情報の公開・提供、結果の公表・公開、広報広聴の工夫充実

震災復興・防災あおもり

最大の責務は、県民の生命と財産を守り抜くこと！

★危機管理体制強化と防災計画見直し

充実・強化した防災情報ネットワークシステムを活用し、国・市町村と連携し、危機管理体制を強化します。

また、今回の東日本大震災を教訓として、青森県地域防災計画を見直し、防災に万全を期します。

★生活再生・産業復興に全力

くらしの再生と産業の復興にスピード感をもって全力にあたります。

被災者生活の再生を図るための住宅再建支援を実施します。

被災農林水産業者及び中小企業者等に対し、各種支援策を講じ、経営の安定と雇用の維持確保に努めます。

★浜の再生・新生に全力

水産の元気復活こそ浜の復興の大切な第一歩。活力あふれる港町新生を全力で進めます。

ウニ・アワビ等のつくり育てる漁業の再生を急ぎます。

★防潮堤・避難道路など思い切った防災ハード整備

県民の生命と財産を守るため、防潮堤や避難道路などのハード整備は不可欠です。これらの施設整備を思い切って進めます。

★自主防災組織・防災教育等ソフト対策を徹底

今回の東日本大震災においても、「絆」に裏打ちされた自主防災組織が、津波からの避難や避難所での助け合いに力を発揮しています。また、過去の災害の教訓が受け継がれていたことで多くの命が助かっています。

自主防災組織の組織率を引き上げ、その活動を充実させるとともに、防災教育等ソフト対策を徹底して進めます。

＊「復興あおもり」に向け全力を尽くします。